

校長室から 第7号

「朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ」～その7～

校歌の作曲者松田喜一氏が本校第10代校長阿部朝継氏に宛てた書簡を転記します。

封筒表 34. 3. 13 消印 紋別郡西興部村立西興部小学校長 阿部朝継先生 机下

封筒裏 網走市北九条西三丁目 松田喜一 三月十三日 以下本文（写真）

御書面拝見いたしました。

貴校々歌の件、大分以前に政井先生の御作に私が作曲した事を思い出しました。年月も相当経過して居り、それに現在歌って居らない様子でありますので、新たに作曲した方がよいのではないかと思います。如何でしょうか。

私が現在迄に作曲しました校歌の中、其の学校の希望に依って二部合唱にして作った校歌も相当あり、北見市光西中学校、紋別市紋別中学校、北見市下仁頃小学校全中学校等はいずれも二部合唱になって居ります。それで先生の学校も三部合唱と云う御希望もある様ですが、二部合唱（前奏、伴奏付）にした方がよいのではないかと思います。

以前の曲を改訂編曲と云う事も考えられますが、やはり近代的感覚で、以前の様な儀式的壮重な曲よりも、明るく楽しく歌い得る、と申しましても、あまりに軽々しく上っ調子のももこまりますが、ある程度の品位を保つ事も必要であり、ともかくも政井先生の作詞が完成致しましたら、至急歌詞御送り下さいます様御願い申し上げます。

拙者の様な者の作曲で我慢していただけるのでしたら、喜んで、努力して見たいと思います。

では取り急ぎ要用のみ 三月十三日 網走市北九条西三丁目 松田喜一 阿部朝継先生

文面からは、次のことが読み取れます。

- (1) 現在、校歌が歌われていないこと。
- (2) 政井三郎氏の作詞が完成したら松田喜一氏が曲をつけること。

これらのことから、阿部朝継氏から校歌の改訂を依頼された政井三郎氏が歌詞の一部を改訂し、それを受けて松田喜一氏が曲の一部を改訂したと考えるのが自然です。なお「開校五十周年記念行事文書綴昭和三十三年度起」（4号参照）の決算書からは校歌改訂に対する支出の証拠を見出すことはできませんでした。

さて、なぜ校歌が歌われなくなったのでしょうか。昭和9年25周年の校歌制定から昭和34年50周年の校歌改訂の間には、昭和20年8月15日終戦というエポックを画すできごとがあり、その後我が国は戦後民主主義へと急激に舵を切ったのです。筆者の全くの想像ですが、古い校歌（2号参照）の3番の歌詞「おほみおしへを偲びつつ赤子の覚悟固めばや」あたりが時代に合わないということになって、歌われなくなったのではないのでしょうか。このことについては当時の関係者の証言を待たなければなりません。

なお戦後多くの学校が新しい校歌を制定しており、ちなみに上興部小学校もその1校です。

